



自治体の海外プロモーションを支援 ～プロモーションアドバイザー事業～

(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主事 辻脇 佳奈 (和歌山県派遣)

プロモーションアドバイザーとは

クリアでは、自治体の海外プロモーションなどに関するお悩みを解決するために、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー：PA）を派遣する事業を実施しており、大変好評をいただいています。

自治体の皆様の「地域の魅力はわかっているが、海外への発信方法がわからない!」「海外戦略ってどこから手を付けたらいいの?」といった疑問や「地元食材を海外に売り込む際のプロモーションについて助言が欲しい」といった具体的な事例まで、様々な相談を承っています。

PAは、2023年1月現在、33社（名）登録されており、インバウンドプロモーションや地場産品の販路拡大をはじめ、MICE、クルーズ、ハラルなど専門性の高い分野についても対応できるのがこの事業の魅力の1つです。

今回は2022年度に実施したPA事業の事例を紹介します。

オルレを通じた 韓国インバウンドの促進 (福岡県香春町)・現地派遣

福岡県香春町から、インバウンド観光対策として、オルレ発祥である韓国（済州）からの新規顧客獲得に向けた取り組みについて助言が欲しいと依頼があり、PAのオルレコミュニケーションズ代表 李唯美氏を現地に派遣しました。

〈日 時〉2022年11月19日 終日

〈参加者〉自治体：福岡県香春町

〈P A〉オルレコミュニケーションズ
代表 李唯美氏



李唯美氏

オルレとは、韓国（済州）発祥のトレッキングコースのことで、もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味があります。山や海などの自然、民家の路地などをゆっくりと楽しみながら歩くところがオルレの醍醐味です。コースの要所には「カンセ」と呼ばれる済州島の馬をモチーフにしたオブジェや、青と赤のリボン、木製の矢印やペイントされた矢印などの標識が設置されています。



カンセ



リボン

九州では、各地で魅力的なトレッキングコースを開発し、「九州オルレ」として、2012年から整備していて、香春町を通る「筑豊・香春コース」も既に完成していましたが、新規オルレファンを増やすことが課題でした。

今回の派遣では、イベントの中で、実際にコースを歩



きながら、韓国インバウンドを促進するためのアドバイスをいただきました。

李氏は、韓国人が日本のオルレに期待している点として、オルレを通じて知らない場所に行き、その地の人と交流することである、とした上で、ガイドの充実や、地域住民と交流できる仕掛けづくりなど、受入体制（おもてなしの部分）を充実させることが重要だと述べました。また、「韓国からのツアーに随行している韓国人ガイドと良好な関係性を構築できるとリピーターになってもらえる」ということや、プロモーションの部分では、「SNSでオルレを発信し、ハングルのハッシュタグをつけることが重要である」「在日韓国人へ周知をすることもPRの1つである」などのアドバイスをしていました。

派遣後、香春町からは、「李氏からの専門的知見は今後のインバウンド誘客に大いに活かすことができる」「李氏が来ることを知ってイベントに参加した在日韓国人がおり、アンケートを通じて韓国人の意見も集約できた」とご感想をいただきました。

海外への食品輸出に向けた競争力の強化 (関西広域連合農林水産部(事務局：和歌山県)・オンライン派遣

「関西広域連合農林水産部」は、地域の優れた食材を世界へ輸出することを目標に掲げており、その機運を高める目的で、事務局である和歌山県が例年、食品輸出をテーマとしたセミナーを開催しています。

今回は、近年注目されている食品認証制度（HACCP、ハラール、コーシャなど）やヴィーガン・ベジタリアンなどへの対応について、付加価値創出のため、PAの（一社）ハラール・ジャパン協会代表理事の佐久間朋宏氏をセミナー講師として派遣しました。

〈日 時〉2023年1月13日 14:00～14:30

〈参加者〉自治体：関西広域連合農林水産部
(事務局：和歌山県)

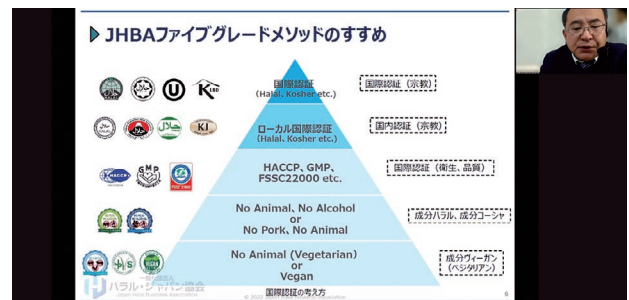
〈P A〉(一社)ハラール・ジャパン協会
代表理事 佐久間朋宏氏

佐久間氏は、ハラール認証はイスラム教徒（ムスリム）にとっての安全・安心のマークであり、ハラール認証がないとハラールビジネス（ムスリム向けの商品を輸出する、

サービスを提供する）ができないというわけではなく、どの国の誰に向けて何を輸出するかを明確にした上で、ハラール認証の必要性を判断することが重要だと述べました。

さらに、ハラール、コーシャといったものを「特定の宗教や食嗜好向けの食品」としてとらえるのではなく、「誰もが楽しむことができる食品」として、ユニバーサルフードを目指すものであるとのことでした。

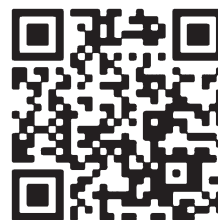
各種認証マークや対応表記が複数あると、より広いマーケットにアプローチできるともアドバイスをしていました。



オンラインセミナーの様子（佐久間朋宏氏）

派遣後、関西広域連合農林水産部の事務局である和歌山県からは、「わかりやすい資料・講演内容でした。視聴者からも役立つという評価が多く、今後の輸出促進に向けた効果的なセミナーとなりました」とご感想をいただきました。

お気軽にご相談ください！



今回紹介した事例の他にも、各自治体へ派遣を行っていて、相談内容は様々です。過去の派遣事例については、クリアのホームページに掲載しています。また、33名（社）のPAに

ついて、各専門分野や概要も掲載していますので、併せてご覧ください（上記2次元バーコードからアクセスできます）。

PA派遣に要する費用は原則としてクリアが負担しますので、まずは、お気軽にご相談ください。

(一財)自治体国際化協会 交流支援部経済交流課
Tel : 03-5213-1726 / Fax : 03-5213-1742
Email : keishin@clair.or.jp